

未来をドライブする地域基盤 ～ 道路と交通が拓く持続可能性 ～

日時 令和7年11月7日(金) 13:30～16:30(受付は13:00より)

会場 ホテルグランヴィア京都 5F 竹取の間

定員150名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費無料

主催：一般社団法人システム科学研究所



本プログラムは土木学会
認定CPDプログラムです
[JSCE25-1238] (2.7単位)



交通のご案内

● JR 京都駅

JR京都駅に直結。

中央改札口より正面右側エスカレーターを上がってお越しください。

● 東海道新幹線 京都駅

新幹線中央改札口を出て右折し、南北自由通路を直進してください。

右手エスカレーターよりホテル和食レストラン街を通ってお越しください。

● 近鉄 京都駅

近鉄中央改札口を出て左折し、南北自由通路を直進してください。

右手エスカレーターよりホテル和食レストラン街を通ってお越しください。

● 京都市営地下鉄 京都駅

地下鉄中央1改札口もしくは北改札口より5番出入口を上がって

右側正面の建物、右側にあるエスカレーターを上がってお越しください。

当日は周辺駐車場の混雑が予想されますので、誠に恐縮ですが、ご来場は公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

ホテルグランヴィア京都

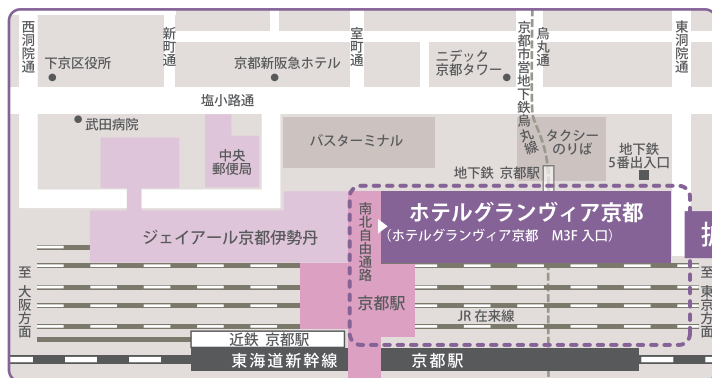
〒600-8216

京都市下京区烏丸通塩小路下ル

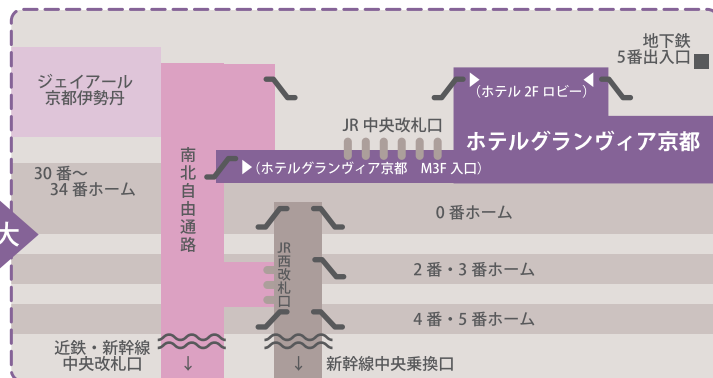
JR京都駅中央口

TEL：075-344-8888(大代表)

URL: <https://www.granvia-kyoto.co.jp/>



拡大



お申込み方法

- 下記のURLまたは右下のQRコードから令和7年10月31日(金)までにお申し込みください。
- 会場の都合により、申し込みが多数の場合は、定員になり次第締め切らせていただきます。
- 参加証等は発行いたしません。申込確認メールにて受付番号をお送りいたします。当日、会場にて受付番号を係の者にお申し出ください。
- 合理的配慮をご希望される方は、申し込み時にお知らせください。
- 本件に関するお問い合わせ等は右記の連絡先までお願いします。

< 連絡先 >

〒604-0013

京都府京都市中京区

新町通夷川下る二条新町717番地

一般社団法人システム科学研究所
調査研究部 吉原・高橋

TEL:075-221-3022

★お申込みURL こちらの二次元コードからもアクセスできます→

<https://www.issr-kyoto.or.jp/event/info/>



開催にあたって

人口減少社会において、自治体が直面する地域経営の大きな課題は「地域の持続性」の担保となっています。道路や鉄道は日常生活の移動や都市間の移動を支えるだけでなく、都市圏を結び人口規模を確保する地域の基盤となります。

一方で、財源不足、技術系職員の人材不足などが顕著である地域においても、交通・医療・教育など暮らしに欠かせないサービスを維持・享受するための投資も不可欠であると考えます。また、地域のインフラにおいては広域連携や他分野連携のスキームを構築し、効率的・効果的に維持管理を行い、人的資源等を補完する取り組みも推進されています。

本シンポジウムでは、地域基盤の持続可能性を高めるために、自治体や交通事業者が地域の未来を描くためのヒントを探り、インフラ投資の評価のあり方について考えます。

プログラム

13:30 開会挨拶 朝倉 康夫 一般社団法人システム科学研究所 会長

13:35 講演Ⅰ 「地域の未来をつなぐインフラ投資 ～人口減少時代の地域経営～」

講師：大串 葉子 氏 同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授

英国マンチェスター大学大学院にて会計・金融修士、九州大学大学院経済学研究科にて博士（経済学）を取得。新潟大学、カナダ・アルバータ大学研究員、香港大学招聘准教授、嵯山女学園大学を経て、2023年9月より現職。公職は国土交通省交通政策審議会委員、社会資本審議会委員、公共事業評価手法研究委員会、内閣府国土強

朝化推進会議委員など多数。専門分野は管理会計、ITマネジメント、投資評価であり、公共事業やPFIの評価も手掛ける。

著作は『進化するPFI：四半世紀を経た我が国PFIへの実務経験と英国会計検査院報告書からのインプリケーション』、『経営革新から地域経済活性化へ』（共著）ほか。



14:15 講演Ⅱ 「地域基盤の担い手をどう確保するか ～社会全体で支える持続可能性～」

講師：瀬木 俊輔 氏 神戸大学大学院 工学研究科 准教授

工学博士。東京大学工学部卒業、京都大学工学研究科博士課程を修了後、カナダ・ウィンザー大学ポスドク研究員、京都大学経営管理大学院特任助教、京都大学工学研究科助教を経て、2020年より現職。

専門は土木計画学。都市経済学や交通経済学のアプローチを活用して、インフラ整備が地域や都市に与える影響の評価や、インフラ投資の費用対効果の分析に取り組んでいる。令和元年度土木学会論文奨励賞受賞「都市内道路とフランチャイズ小売企業の物流センター立地戦略の関係」。土木学会土木計画学大会運営小委員会幹事長、大阪市建設事業評価有識者会議委員などを務めた。



休憩 (14:55～15:10)

パネルディスカッション

15:10 テーマ 「持続可能な地域を支える交通インフラへの投資のあるべき姿と課題」

パネリスト（順不同）：浜本 雄司 氏 奈良県 県土マネジメント部 道路マネジメント課 課長

大阪市立大学工学部卒業後、1992年度に奈良県庁に土木技師として入庁。道路管理課調整員、高田土木事務所工務課長、平城宮跡事業推進室主幹、五條土木事務所長等を歴任し、2025年4月より現職として県管理道路の維持管理全般を担当。これまで、学研都市の建設、JR奈良駅付近の連続立体交差、紀伊半島アンカールートの道路改良、平城宮跡歴史公園の管理運営等幅広い分野に携わってきた。また、6つの出先事務所に所属したことがあり、県内全域の現場を経験している。



上村 正美 氏 阪急電鉄株式会社 専務取締役

1985年 京都大学大学院 工学研究科交通土木工学専攻 修了、同年入社。1996年 鉄道営業部運転担当課長として、運転計画・運転保安業務に従事。2013年 取締役・都市交通事業本部副本部長、2021年 上席常務取締役・都市交通事業本部長（安全統括管理者）を経て、2025年4月より現職。淡路駅付近連続立体交差事業、北大阪急行延伸線事業、新駅、なにわ筋連絡線・新大阪連絡線計画などの大型プロジェクトに数多く関与し、沿線のまちづくりを推進。



大串 葉子 氏 同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授

瀬木 俊輔 氏 神戸大学大学院 工学研究科 准教授

コーディネーター：朝倉 康夫 一般社団法人システム科学研究所 会長